

事業報告書

<p style="text-align: center;">事業名</p>	<p>介護の日にちなんだ、国民に向けた介護の魅力発信プロジェクト企画の実施事業</p>
<p style="text-align: center;">事業の実施状況</p>	<p>『介護の日（11月11日）』にちなみ、多くの国民の皆さまに『介護』について理解を深めていただくこと、『介護』について考える機会を提供することを目的として企画した。</p> <p>具体的には、介護にまつわる映画として、今年度は「ぼけますから、よろしくお願ひします。～おかえりお母さん～」を取り上げ、その際、「介護の日」を紹介する動画①と、映画監督と当会会長の及川による対談の動画②を、映画本編の前後に置き、国民の皆さまに1週間視聴いただける環境を提供した。</p> <p>本企画については、当会ホームページにバナーを配置するとともに、当会のnote上で詳細のご案内等をさせていただきました。</p> <p>https://note.jaccw.or.jp/n/n1f81b52d9440</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日時：令和6年11月11日（月）から17日（日）まで 2 視聴方法：オンライン 3 視聴対象：上限を設けず募集 3 周知広報の方法 <p>ホームページ及びSNSを活用するとともに、オンラインニュースの配信会社等の協力を得た</p>
<p style="text-align: center;">事業の成果</p>	<p>1200名を超える方からお申込みいただき、約130名の方から感想が寄せられた。</p> <p>フリーアンサーでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事での介護支援を超えて、「一人のひと」として、自分が今出来ることとはなんだろうか、考えさせられました。 ・ ADLの情報も大切だけどQOLの情報は本当に大切だと思いました。 ・ 映画のなかの、「60年も支えてくれて、ありがとうね。あの世でも、仲良く暮らそうよね」という言葉で大泣きました。 ・ 愛が溢れる作品で感動しました。認知症、ACP、介護負担、老老介護、ぎっしり詰まって。介護に携わる多くの人に勧めたいです。 ・ 家族がみんな支えあい、寄り添うことの大切さを教えてもらいました。その裏には、ケアマネージャーや関係機関との連携があつてこそ成

	<p>り立つのだと改めて感じました。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 介護の仕事をしていて辞めたいと思っていました。でも在宅に興味がわき少し考えてみようと思っています。ありがとうございました。・ 非常によい作品でした。学生にも見せたいと思いました。・ お父さんも介護で大変だったのに、送る言葉は「有り難う」に感動しました。・ 今後ますます介護を必要とされる人が増える時代。でも、いつでも誰でも受けられる医療は身近だけど、介護は必要となる直前まで身近に感じる機会がない人が多いのが現実。「介護」という言葉が、高齢者自身の中でもマイナスイメージが強いので、「介護」の言葉のイメージを変えていけたらなと思います。・ 介護職をしています。改めてやり甲斐のある素敵な仕事だと思いました。 <p>などのご意見をいただいた。</p> <p>この映画が、介護の魅力の再確認を促し、多くの国民の皆様に介護の価値を伝えてくださったと考えている。</p>
--	--